

メルマガ全部協プライムニュース

2017年2月号

<http://zenbukyo.or.jp>

このメールは、組合員、賛助会員、及び旧「全部協プライムニュース」の配信希望登録を頂いた、組合員企業の社員、関係機関・団体・企業の皆さまにお送りしております。

C O N T E N T S

- 1, 「メルマガ全部協プライムニュース」とは
- 2, 「オートモーティブプライムニュース」とは
- 3, 全部協活動報告
 - 1) 第30回定例理事会開催
 - 2) 第7回正副理事長会議開催
 - 3) 第11回編集委員会開催
- 4, 支部・ブロック協議会活動報告
 - 1) 京都府支部「平成29年新春懇談会」開催
 - 2) 全九部総会が開催されます
 - 3) 長野県支部 全県経営研修会 開催しました
- 5, 統計情報
 - 自動車販売統計
 - 整備工場統計
- 6, 事務局からのお知らせ
 - 1) 永年勤続表彰規程が改定されました
 - 2) 組合員の資本金及び従業員数等の調査を行います

- 3) 団体生命保険・医療保険・PL 保険への加入お奨め
- 4) 読者からの声をお聞かせ下さい
- 5) あっせん販売商品の紹介
- 6) 「共同購買サイト」掲載商品
- 7) 「共同購買サイト」の“お知らせ”から
- 7, 全部協会議・活動日程
- 8, メルマガ配信アドレス登録お願い
- 9, 付録
 - 1) 大同生命からのお知らせ
 - (1) 全部協「福祉共済制度」
 - (2) 付録【社内規程】
 - (3) 201701【ビジネスレポート】
 - 2) ワイパーリフィール特価キャンペーンチラシ
 - 3) 富士通パソコン冬期キャンペーンチラシ
 - 4) PB 商品の広告
 - 5) その他の広告リンク
 - ・ショーワグローブ株式会社

1 「メルマガ全部協プライムニュース」とは

- イ、全部協<内部情報専門>の「メールマガジン」です。
- ロ、理事会や委員会、組合の各種事業活動及び組合員への連絡事項を
発信します。
- ハ、<毎月>、組合員、賛助会員及び所管官公庁、協力企業に配信します。

2 「オートモーティブプライムニュース」とは

- イ、部品商の<顧客向けの情報誌>です。
- ロ、<奇数月発行>のタブロイド版の「紙面情報誌」です。
- ハ、補修部品情報はもちろん、卸問屋企業や部品メーカーからの情報、
自動車業界動向、各種技術情報、全部協の諸活動、等々を発信して

参ります。

二、＜希望を募り「無料」で＞組合員・賛助会員へ配送します。

ホ、組合員の営業ツールにすることを目的にしています。

3 | 全部協活動報告

1) 第 30 回定例理事会開催

全部協は第 30 回定例理事会を平成 29 年 1 月 26 日（木）に東京新橋のニュー新橋ビル地下 2 階ニュー新ホールで開催しました。

議題は、以下の通りです。

- (1) 組合員の脱退について（法定脱退、自由脱退）
- (2) 永年勤続表彰規程改定について
- (3) 全部協の運営体制と財政収支状況（実績・見込）
- (4) 「共同購買サイト」改訂改良について
- (5) その他 報告事項

※詳しい議事内容は、ホームページの組合員ルームで確認ください。

1, 組合員の脱退について（法定脱退、自由脱退）

事務局（専務理事、以下同じ）から組合員の脱退申し込みの報告がなされ、全会一致で承認されました。

1) 法定脱退

三興部品（株） 京都府 出資口数 1 口

平成 28 年 12 月 27 日届出（京都府支部経由による届出）

※法定脱退者は届出の期日をもって組合から脱退となります。

2) 自由脱退

（有）神宮部品商会 宮崎県 出資口数 2 口

平成 29 年 1 月 17 日届出（宮崎県支部経由による届出）

※自由脱退者は当該事業年度末（平成 29 年 3 月末）をもって

脱退となります。それまでの期間は、組合員としての権利と義務が継続されます。

2. 永年勤続表彰規程改定について

平成 24 年 10 月 12 日制定の従業員表彰規定の見直し案が事務局から提案され、全会一致で承認されました。

1) 規定名の変更

「従業員表彰規定」を「組合員表彰規定」に改める。

2) 表彰内容

(1) 全部協の役員、委員又は組合員（全部協の事業運営に貢献した従業員を含む）の表彰

①表彰対象者

全部協の組織運営及び事業運営に他の模範となる多大な功績があると認められる者。

②理事会の承認を経て理事長が表彰する

③組合の設立記念又は総代会において表彰する

(2) 組合員企業の永年勤続者の表彰

①組合員からの申請にもとづき、事務局にて選考し、

正副理事長会議の承認を経て理事長が表彰者を決定する

②表彰状は組合員企業を経由して授与する

③ただし、事情を勘案し各都道府県支部（ブロック協議会又は都道府県部品商組合を含む）を経由して授与することも可能にする

④同一組合員の従業員表彰は年 1 回とし、組合員は、毎年、表彰する月の 3 ヶ月前の月末までに、全部協の理事長宛に上申する

⑤資格要件として、従前規定から以下を削除する

- ・ 在職証明（組合員からの上申書に代える）
- ・ 無事故無刑罰証明

3) 改定規定の施行時期

平成 29 年 1 月 27 日から施行する。

3. 組合員の資本金及び従業員数等の調査実施について

経済産業省及び公正取引委員会からの要請を受け、「設立 5 年経過後の組合

員実態調査」を行うことが、全会一致で承認されました。

この調査は、全部協が中小企業等協同組合法第7条に基づく中小企業者の事業協同組合として継続認定できるか否か、並びに私的独占禁止法第22条第1号の要件に適合する事業協同組合に継続認定できるか否か、を確認するために行うものです。

1) 調査対象企業 全組合員企業

2) 調査項目

- (1) 資本の額又は出資の総額
- (2) 常時使用する従業員数（パートは除く）
- (3) 営業所・支店及び出張所等の従たる事務所数

3) 調査方法

郵送された調査票に、代表者による署名捺印（登記登録印鑑による）をして、同封の返信用封筒にて全部協事務局に返送します。

全部協事務局はそれと合わせ、組合員名簿に従い整理取り纏めて、経済産業省自動車課へ提出します。

なお、全部協が毎年行っている「基礎統計・取引実態調査」は、調査委託会社が行い、全部協が調査企業と内容を把握できません。また、全組合員から回答が得られません。これらのことから、別に個別調査を行う事にしたものです。

4. 全部協の運営体制と財政収支状況（実績・見込）

事務局から全部協の財政収支状況が説明されました。報告は平成23年度から27年度までの実績収支と平成28年度実績見込み及び平成29年度、平成30年度の予想数値です。

これにより、今後、共同購買事業が伸びることが期待できず、また、団体保険事業加入者が減少することから、財政事情が悪化するが示されました。

対応策について、委員会担当理事（経営組織委員会、事業運営委員会）からの発言をもとに、理事会での議論を求めましたが、他の理事役員からの発言はなく、審議未了に終わっています。

次回理事会（4月20日開催の第31回定例理事会）までの懸案事項としました。

<議論が求められた要点>

- (1) 共同購買事業の振興策

- (2) 団体保険事業の加入促進策
- (3) 定款を改定して共同事業の大幅縮小と事務局の廃止
- (4) 解散・改組（一般社団化などの団体協約権の無い組織への改組）
- (5) 賦課金（会費）の値上げ

5. 「共同購買サイト」改訂改良について

「共同購買サイト」の利用促進策として、事業運営委員会（情報専門部会）で、サイトを改造する方針が決められています（第14回事業運営委員会、11月17日開催）。

これにより、「共同購買サイト」のプラットフォーム改造の予算措置が必要になっています。

事務局から、サイトの制作委託会社と詳細検討に入ること、及び、その予算化方針について、当理事会に諮り了承されました。

6. その他 報告事項

1) メーカー等との懇談会開催について

事務局から、メーカー及び純正部品販売会社へ、懇談会の申し入れを行うことが報告されました。

2) 訪米視察訪問について

延期している訪米計画の催行方法について事務局から報告しました。これは、1月19日に行われた正副理事長会議での議論を踏まえたものです。

米国のコンシューマー・エレクトロニクス・ショー（Consumer Electronics Show, CES）や、北米国際オートショー（North American International Auto Show, NAIAS）に合わせた、見学ツアーに参加する方向で経営組織委員会が計画立案します。

3) その他諸々

(1) 理事役員、委員会委員の名刺作成

ZEN-ERIC 商標の利用普及と、全部協への参加意識を高めるために、理事役員と委員会委員へ、全部協の商標を記載した名刺を制作配布することが事務局から提案され、了承されました。

(2) 機関誌への広告掲載協力お願いと読者からの寄稿協力お願い

機関誌「オートモーティブプライムニュース」への広告掲載が進んでいません。問屋及びメーカーへの協力呼びかけを理事役員から積極的に行っていただくことを、事務局から要望しました。

また、広告掲載をお願いするのに、部品商の客先が回読している事実を示すため、読者からの反響記事掲載が必要です。その寄稿依頼協力を事務局から理事役員に求めました。

(3) 地方での全部協事業活動説明会開催のお願い

全部協の年度計画予算では、地方での事業活動説明会開催予算を計上しています。しかし、その実施見込みは低迷しており、実績が上がっていません。全部協の事業へ組合員の理解が進まない一因となっていることから、参加規模の大小は問わずに、理事役員へ開催協力を事務局から呼びかけました。

(4) 共同購買事業への協力お願い

事業収入をどの様に増やしていくかの議論の中で、共同購買商品を増やす提案が事業運営委員会で出されていました。

同様の提案事案を理事役員で持ち合わせていないか、事業運営委員会担当理事から問いかけが行われました。

また、これらを実現具体化して後押しするため、過去にオファアのあった倉庫・配送事業者に、再度情報を得るために問い合わせることになりました。

(5) 業界紙「アフターマーケット」1月号の記事を紹介

業界紙「アフターマーケット」1月号で、全部協組合員によるZEN-ERiC商品の取り扱い実績が伸びないことを取り上げています。

主題は、「ネット通販に破壊される業界秩序」としていますが、内容は、全部協の共同購買事業が組合員（部品商）に理解されていない実態を記事にしています。

この報告は、先の1月19日開催された第7回正副理事長会議でも行っています。

(6) 団体生命保険・医療保険・PL保険への加入協力お願い

団体医療保険事業の資格要件である、加入社数100名以上を割り込むことから、このままであれば、来年5月末で事業廃止となる恐れがあります。

急遽、加入者を募集することにいたしました。また、これに合わせ、団体生命保険と団体 PL 保険の加入案内と募集を行うことを確認しました。

理事役員に、それぞれの関係資料が配付され、加入募集協力が求められました。

2) 第 7 回正副理事長会議開催

全部協は第 7 回正副理事長会議を平成 29 年 1 月 19 日（木）に全部協（東京上野）で開催しました。

議題は、以下の通りです。

- (1) 組合員の脱退について（法定脱退、自由脱退）
- (2) 永年勤続表彰規程改定について
- (3) メーカー等との懇談会日程について
- (4) 組合員の資本金及び従業員数等の調査実施について
- (5) 平成 29 年度の事業方針と予算編成方針（賦課金値上げ）について
- (6) その他

※詳しい議事内容は、ホームページの組合員ルームで確認ください。

理事会と重複する以外の議題について、記載します。

1, 組合員の脱退について（法定脱退、自由脱退）

理事会の報告を参照下さい。

2, 永年勤続表彰規程改定について

理事会の報告を参照下さい。

3, メーカー等との懇談会日程について

今年度の懇談会を、次の 3 社と行う計画を立てています。理事長の都合を考え、2 月～3 月での開催を申し入れる事になりました。

1) 懇談会開催を申し入れる純正部品販売会社及びカーメーカー

- ① マツダパーツ(株) 石田岳人 代表取締役社長 宛
- ② 本田技研工業(株) 堀内康弘 アフターマーケット課長 宛
- ③ スズキ(株) 鈴木栄二 部品用品販売課長 宛

2) 懇談会議題(開催趣旨)

- ① 自動車関連技術の新たな方向性
- ② これからのアフターマーケットの方向性
- ③ 今後の全部協と部品商が担う役割について

4. 組合員の資本金及び従業員数等の調査実施について

12月8日の経営組織委員会で提案された、組合員の資格と事業実態把握・調査について、その実施方法が議論されました。

1) 調査期間(案)

平成29年2月1日(水)～2月28日(火)

2) 配布取り纏め方法

次回理事会(1月26日実施)で、各理事から意見を募り、配布方法や、とりまとめの仕方などを決めることになりました。

組合ないしは支部で取り纏めるなどの意見が出されましたが、組合員の事業規模を他の組合員に知られることになることから、各理事から慎重な意見が出てくることが予想されます。

また、支部やブロック協議会が無い地域や、地方の任意組合に加入していない全部協組合員もいることから、各地域で一括とりまとめる方法で進めることは難しいことが予想されます。

5. 平成29年度の事業方針と予算編成方針(賦課金値上げ)について

12月8日の経営組織委員会で事務局(専務理事)から説明された内容を報告しました。それを受けて、事業収入をどの様に増やしていくかについて、主に意見交換しました。(※理事会報告と重複する部分を省略して記載します。)

1) 医療団体保険事業資格喪失対応(事業資格維持)

団体医療保険資格要件である、加入社数100名以上を割り込むことから、このままであれば、来年5月末で事業廃止となる恐れがあり

ます。急遽、正副理事長各社で5名ずつ加入者を募集することになりました。

2) 共同購買事業の進め方について

事務局から、共同購買事業の取扱商品販売実績をデータで示し、いずれも組合員の利用が芳しくない（利用の広がりを見せていない）ことを具体的に示しました。

- ①ZEN-ERIC ブレーキパッド
- ②ZEN-ERIC ワイパー
- ③AdBlue (R)
- ④ビッグウェーブ RDS
- ⑤輸入タイヤ（オートウェイループ）
- ⑥輸入タイヤ（ハンコックタイヤジャパン）
- ⑦タイヤ用品

6. その他

1) 機関誌への広告掲載協力依頼について

機関誌「オートモーティブプライムニュース」への広告掲載が進んでいません。NGKが年間で3回掲載の契約を行っているのみです。機関誌発行継続を図るためには、広告掲載企業を増やすことが必要です。

次回理事会（1月26日開催）で、理事役員に呼びかけ協力を求めることになりました。

2) 機関誌一周年を期した読者からの寄稿記事提供お願い

機関誌発行してから、今度の第6号（3月号）で1周年を迎えることから、編集委員会で読者からの感想や意見を採り上げることが話し合われています。

部品商の客先である整備工場やガソリンスタンド、取引先の間屋、メーカーからの反響記事掲載に、理事役員及び組合員の協力を得ることをお願いすることになりました。また、同じく、次回理事会で協力を呼びかけることになりました。

3) その他諸々として

- ①ZEN-ERIC 商標を記載した名刺サンプルが示され、理事役員、各委員会メンバーの事業活動に活用していただくことになりました。

次回理事会（1月26日実施）で了承を求めることとなります。

- ②業界紙「アフターマーケット」1月号の記事を紹介し、全部協組合員によるZEN-ERIC商品の取り扱い実績が伸びないことが、業界内部で取り上げられていることを事務局から報告しました。

3) 第11回編集委員会開催

全部協は第11回編集委員会を平成28年1月16日（月）10時から、全部協会議室（東京上野）で開催しました。

議題は、以下の通りです。

- ①第6号（3月号）の紙面割り確認
- ②第5号（1月号）の紙面記事内容について
- ③配送部数確認
- ④広告募集状況
- ⑤その他

※詳しい議事内容は、ホームページの組合員ルームで確認ください。

1. 第6号（3月号）の紙面割り確認

第6号の紙面構成の紙面割り案について意見交換しました。

【1面、2面】

ホットな話題を取り上げる。例えばトランプ旋風など。
期近になってから具体的に決めたい。

【3面】

オートモーティブワールドなどのイベントを取り上げる。

【4面】

NGKの広告と記事が続けてもらえることになっている。

【5面】

（連載）メカニカルレポート [第6回]、プリウス関係の情報掲載

【6面】

機関誌発行1周年を記念した読者のご意見などを掲載することを検討する。整備工場、問屋、部品メーカーなどに寄稿依頼をトライする。

【7面】

自動運転のアンケート情報などを掲載する。

新車年間ランキングなども取り上げる。

【8面】

(連載) ビジネスマナー (メールのマナー)、イベント情報

2. 紙面記事内容について

1) 1周年記念の読者からの寄稿記事

機関誌の発行趣旨から、部品商の客先(整備工場など)からの感想・意見を掲載することが求められます。また、部品流通の上流から下流までを考えると、メーカー、卸問屋(純正販社含む)などの、意見も採り上げたいところです。部品商、事務局、JCRのそれぞれのチャンネルで、寄稿依頼できるところを探ってみることになりました。

2) 日本車が故障しないこと

欧州車に比べ、日本車は故障しないことを良く聴かされますが、それをもっと具体的に表すことができないかとの意見が出されました。

海外(アフリカ)メディアが、(株)ビィ・フォアードを取り上げ、日本車を高く評価しています。

全部協へも、豊田通商などから、アフリカへの部品販売の情報が寄せられています。部品流通においては、今後注目する分野でもあります。

視点を変えて、日本のメーカーのクルマも海外(東南アジア)で生産するクルマが増えてくる傾向にあります。日産のマーチ、三菱のミラージュなど、国内生産車と比べどうなのか。週刊誌的な見方になりますが、部品を含め国内のモノ作りの良さなどいろいろ伝えられそうです。

3) 紙面への反響

追加発送の要望もいただいています。地方研修会や会合などへも送り、関係者へ広めていくことを取り組んでいきます。

また、今度のIAAE2017でも関係イベントブースなどの受け付けで配布することにしました(第6号)。

3. 配送部数確認

事務局への発送を100部から150部に増やしています。より多くの関係

機関と事業者へ送ることと、組合行事での利用を図ります。

4, 広告募集状況

NGK（日本特殊陶業）様から年3回の広告掲載契約をいただいておりますが、これを他の企業にも広めることが求められます。問屋企業や部品メーカーにも部品商の協力をいただきながら働きかけていく必要があります。

5, その他

- 1) 次回委員会開催予定日を1月17日（金）にしました。
- 2) メルマガ1月号の発行日は2月10日（金）を予定することになりました。

4 | 支部・ブロック協議会活動報告

- 1) 京都府支部「平成29年新春懇談会」開催
- 2) 全九部総会が開催されます
- 3) 長野県支部 全県経営研修会 開催しました

上記につきましては

添付のPDFデータ「01_sbkyougikai.pdf」をご覧ください。

5 | 統計情報

国交省統計 URL

認証・指定工場数及び新規・廃止状況（速報）

<http://www.mlit.go.jp/common/001170857.pdf>

優良認定工場数（速報）

<http://www.mlit.go.jp/common/001170859.pdf>

自販連 URL

ブランド別新車販売台数概況 2017年1月

<http://www.jada.or.jp/contents/data/hanbai/brand01.html>

一般社団法人 全国軽自動車協会連合会 URL

2017年1月軽四輪車新車販売速報

<http://www.zenkeijikyo.or.jp/statistics/index.html>

6 | 事務局からのお知らせ

1) 永年勤続表彰規程が改定されました

1月26日開催の第30回定例理事会において、「永年勤続表彰規程（従業員表彰規定）」が改定されました。

<改定のポイント>

(1) 表彰対象

- ①従来の「組合員企業の永年勤続者」に、
- ②全部協の役員、委員又は組合員（全部協の事業運営に貢献した従業員を含む）

を加えました。

(2) 表彰する時期

- ①従来の「組合員企業の永年勤続者」は、組合員企業の都合に合わせた時期（年1回）
- ②「全部協の役員、委員又は組合員」については、組合の設立記念又は総代会にて

とします。

(3) 「組合員企業の永年勤続者」の申請時期

組合員が表彰する月の3ヶ月前の月末までに全部協理事長宛（事務局）

に申請してください。

詳しくは、事務局にお問い合わせるか、ホームページの「規約・規定」をご確認ください。

<http://zenbukyo.or.jp/agreement.html>

2) 組合員の資本金及び従業員数等の調査を行います

経済産業省及び公正取引委員会からの要請を受け、組合員の資格要件を調査報告します。これは、全部協が中小企業等協同組合法で定める「事業協同組合」であるかどうかと、私的独占禁止法（独禁法）で定める団体協約交渉権を持つ「独禁法適用除外団体」として継続して認めることができるかを確認するために行うものです。

組合設立から5年が経過し、構成組合員の事業形態が大きく変わっていると推測されることから、全部協を所管する経産省自動車課が行うものです。

全部協では、毎年「基礎統計・取引実態調査」を調査委託会社により実施していますが、この調査では調査企業とその内容を突き合わせ把握できません。また、全ての組合員からの回答が得られないことから、これとは別に個別調査を行う事にしましたものです。

(1) 調査期間 平成29年2月1日～2月24日

(2) 調査項目

- ①資本の額又は出資の総額
- ②常時使用する従業員数（パートは除く）
- ③営業所・支店及び出張所等の従たる事務所数

(3) 調査方法

各組合員企業の代表者に調査票を郵送します。代表者による署名捺印（登記登録印鑑による）をして、同封の返信用封筒にて全部協事務局に返送してください。

全部協事務局はそれと合わせ、組合員名簿に従い整理取り纏めて、経済産業省自動車課へ提出します。

(4) その他

この調査に関するご不明の事がありましたら、事務局にお問い合わせください。

3) 団体生命保険・医療保険・PL保険への加入お奨め

1) 団体生命保険・医療保険

全部協では、昭和53年9月に組合員の皆さまの福利厚生事業として「福祉共済制度（団体定期保険・医療保障保険）」を発足し、現在では、約30%以上の組合員の皆さまにご加入いただいております。

全部協の団体生命保険・医療保険には次のメリットがあります。特に他の団体保険と比べ配当率の高いのが特徴です。

- (1) 団体のスケールメリットにより、
割安な掛金で大きな保障が得られます
- (2) 病気死亡・災害死亡のみならず、
不慮の事故による入院・身体障害も保障されます
- (3) 簡単な手続き（告知）でご加入できます
- (4) 掛金は全額損金に算入できます
- (5) 1年ごとに収支計算し、剰余が発生した際には配当金として
還元いたします

2) 団体生産物賠償責任保険制度（PL 保険制度）

商品の販売において間違った情報を購入者に与えたことにより使用された商品が、利用者に危害（身体障害や財物損壊）を与えた場合に、その損害を補償する保険です。全部協組合員（卸販売）のための PL 保険であり、卸売業界ではあまり見ることがない特異な PL 保険です。

この PL 保険は以下の場合を補償致します。

- (1) 十分な製品に対する説明責任を果たさずに販売してしまった
（誤説明）
- (2) 使用・取付方法等、重要な表示を誤ったまま販売してしまった
（誤表示）
- (3) 想定されていない使用用途にもかかわらず、使用可能であると
本来の使用方法与異なった説明をして販売してしまった（虚偽説明）
- (4) 納品誤りにより類似商品を納めてしまい、その商品が原因で事故が
発生してしまった（誤納品）
- (5) 製品の製造元が海外業者であるため、輸入販売業者である組合員に
対して損害賠償請求を求めてくる（輸入代行責任）

なお、保険加入についてのお問い合わせは、全部協事務局までご連絡ください。

4) 読者からの声をお聞かせ下さい

全部協では、機関誌「オートモーティブプライムニュース」とメルマガ「全部協プライムニュース」を組合員企業及び賛助会員並びに関係団体・企業に配送・配信しています。紙面充実とコンテンツの内容をより充実させ、読者の皆様に応えていくため、ご意見・ご要望を募集しています。

下記メールアドレスまでお寄せ下さい。また、ご回読いただいている客先様のご感想やご意見も合わせてお寄せいただけると有り難く思います。

(1) 機関誌「オートモーティブプライムニュース」編集委員会

メールアドレス：primenews@jc-resonance.co.jp

(2) メルマガ「全部協プライムニュース」編集委員会

メールアドレス：jimukyoku@zenbukyo.or.jp

5) あっせん販売商品の紹介

全部協（事業運営委員会）では、各種商品販売のあっせんを行っています。現在のあっせん販売商品をご紹介します。全て組合員ルームに掲載しています。

1) 補修用ガラス

生駒商事（株）

（株）ビッグウェーブ

の自動車補修用ガラスを取り扱っています。

http://zenbukyo.or.jp/member/joint_buy_h_glass.html

2) 輸入タイヤ

（株）ハンコックタイヤジャパン

（株）ビッグウェーブ（オートウェイループ）

の輸入タイヤを取り扱っています。

http://zenbukyo.or.jp/member/joint_buy_i_Tire.html

3) リサイクル部品

（株）ビッグウェーブ（リパーツダイレクトシステム）

（株）OSS司（リビルド製品）

を取り扱っています。

http://zenbukyo.or.jp/member/joint_buy_recycle.html

4) 車輻部品検索システム

(株) アペックス

の車両・部品検索システム「アテナ (ATNA)」を取り扱っています。

1) Windows パソコン用「アテナ (ATNA)」

2) タブレット端末用「アテナ (ATNA)」 Android 版、iOS 版

http://zenbukyo.or.jp/member/joint_buy_atna.html

5) 高品位尿素水

有限会社マイコーポレーションの AdBlue (R) (高品位尿素水)
を取り扱っています。

http://zenbukyo.or.jp/member/joint_buy_adblue.html

6) 「共同購買サイト」掲載商品

全部協の「共同購買サイト」には以下の商品を掲載しています。

サイトの URL = <http://zenbk.com/members/login>

共同購買マニュアル「Let's get started!」vol.13 (2013.11.27)

も合わせて参照ください(「共同購買サイト」のお知らせにあります)。

- (1) e-分岐タップ (2) 間仕切り透明カーテン (3) バンパー
- (4) フェンダー (5) ボンネット (6) ヘッドランプ
- (7) クリアランスランプ (8) サイドマーカーランプ
- (9) テールランプ (10) 知恵袋 (11) P/Sギヤボックス
- (12) 触媒 (13) マニュアルミッション (14) パワステポンプ
- (15) ダイナモ (16) セルモーター (17) スノーテックス
- (18) WAVE BOX (19) ラ・クール (20) バイザー
- (21) ショーワグローブ (22) ETC (23) ワイパー
- (24) タイヤ補修用品 (25) ブレーキパッド
- (26) GE 製自動車用バルブ (電球) (NEW)

7) 「共同購買サイト」の“お知らせ”から

「共同購買サイト」トップページの「お知らせ」に以下の記事が掲載されています。ここから、各種商品の案内と注文様式をダウンロード出来ます。

- 1) GE 製バルブデーターシート (NEW)
- 2) PM システムでのマスター設定マニュアル
- 3) AdBlue (R) あっせん販売案内と注文様式
- 4) フラットワイパーブレード販売開始!! (価格表・適合車種表)
- 5) PB ブランド軽自動車用ブレーキパッド販売開始 (適合表・価格表)
- 6) ZEN-ERIC ワイパーリフィール適合車種表
- 7) タイヤ用品・補修用品販売開始 ((株)プリーマタイヤサプライズ)
- 8) ワイパーリフィール・アソート 100 本 FAX 注文書(pdf 版)
- 9) ワイパーリフィール販売開始!! (価格一覧・互換表)
- 10) TOYOTA ナンバーフレーム一覧 2015 年 8 月現在
- 11) 全部協からの補修用自動車ガラスあっせん販売
- 12) 全部協からの輸入タイヤ販売あっせん開始の案内
- 13) ショーワグローブ製品 (6/27 新規チラシ追加版)
- 14) ETC 車載器【全部協会員特価】 早いものガチ!
- 15) 間仕切りエコ・カーテン by (株)大成部品
- 16) キャンピング用品 by (株)コイズミ
- 17) シーズン到来?【SnowTex】by (株)コイズミ
- 18) 約 4,000 点【リビルド製品】by OSS 司
- 19) YBP 商品一覧はこちら (PDF 全部協売価入り)
- 20) YBP 商品一覧はこちら (Excel 資料)
- 21) みんなの知恵袋! (OEM 車両編) →便利!!
- 22) e-分岐タップのチラシはこちら!

7 | 全部協会議・活動日程

全部協会議・活動日程につきましては
添付の PDF データ「02_h29kaigiyotei-nenkan-02.pdf」をご覧ください。

8 | メルマガ配信アドレス登録のお願い

このメルマガは、組合員、賛助会員、及び旧「全部協プライムニュース」の配信希望登録を頂いた、組合員企業の社員、関係機関・団体・企業の皆さまにお送りしております。

組合員企業、賛助会員企業の皆さまで、配信のご希望がありましたら、全部協ホームページからメルマガの配信登録をお願い致します。

組合員 URL : http://zenbukyo.or.jp/member/mail_form2.html

賛助会員 URL : http://zenbukyo.or.jp/s_member/mail_form2.html

なお、この URL を開くためには、組合員ルームないし賛助会員ルームの ID とパスワードが必要です。ご不明の場合は、事務局までお問い合わせください。

また、組合員と賛助会員企業の関係先で配信希望がございましたら、事務局までお問い合わせください。ご相談の上配信の取り計らいをさせていただきます。

9 | 付録

1) 大同生命からのお知らせ

(1) 全部協「福祉共済制度」

添付の PDF データ「03_daidouseimei-01.pdf」をご覧ください。

(2) 付録【社内規程】

添付の PDF データ「03_daidouseimei-02.pdf」をご覧ください。

(3) 201701【ビジネスレポート】

添付の PDF データ「03_daidouseimei-03.pdf」をご覧ください。

2) ワイパーリフィル特価キャンペーンチラシ

添付の PDF データ「04_wpc.pdf」をご覧ください。

3) 富士通パソコン冬期キャンペーンチラシ

添付の PDF データ「05_ftpcc.pdf」をご覧ください。

4) PB 商品の広告

添付の PDF データ「06_PBpr.pdf」をご覧ください。

5) その他の広告リンク

ショーワグローブ株式会社

<http://www.showaglove.co.jp/>

メルマガ全部協プライムニュースへのお問い合わせ

本メールについてのご意見、ご感想、お問い合わせ

全部協プライムニュース メールマガジン事務局（ジェイシーレゾナンス内）

〒104-0045 東京都中央区築地 3-3-2 NEWS 築地 9F

TEL : 03-5565-1642 FAX : 03-5565-6909

E-mail : primenews@jc-resonance.co.jp

Copyright (C) 全部協プライムニュース メールマガジン事務局